

第169号 12月定例会

太っ腹商品券発行に補助金

健康長寿を願い無料入浴券を65歳以上に年齢拡充

新年あいさつ

議長

白澤 富貴子

村政129年の初春を迎え、おめでとうございます。

村議会議員は3月24日が任期満了で、今年は選挙の年です。

任期中「男性長寿日本一の松川村」の快挙を受けました。この名誉は、行政の取り組み・幸せ感の高い村民性・歴史や大自然の恩恵等が要因と思います。

女性長寿日本一の北中城村議会等、沢山の長寿視察が来村しました。

本年もよい年となり、村の更なる発展と村民各位のご健勝をご祈念申し上げます。

松川村議会だより

平成29年第4回定例会は、12月8日から20日までの13日間の会期で開催しました。議案などは、一般会計補正予算の専決処分2件と議案10件を上程し、松川中学校創立70周年・子ども未来センター竣工を記念して、30割のプレミアムが付いた「太っ腹商品券」発行事業への補助金2250万円、年齢を拡充した高齢者に対する無料入浴券給付費114万4000円等と報告1件を原案のとおり議決・承認しました。一般質問には8人の議員が登壇しました。（内容詳細は20〜22ページ）会期中延べ24人の傍聴がありました。

平成28年度決算に付した意見に対する村の回答要旨

- 議会 税等の収納向上を。**
回答 関係各課と連携し、税の公平性確保と収納率向上に引き続き努める。
- 議会 男女共同参画推進。**
回答 女性登用の人材育成に努め、女性の公職参画率40%を目指す。
- 議会 電気料の削減を評価する。**
回答 平成29年11月より低圧電力を使用している14施設の電気供給業者を変更する。引き続き、光熱費の削減に努める。
- 議会 トットちゃん広場は、冬期間のPR等努力を。**
回答 トットちゃん広場改修等の長寿命化事業が計画的に行っている。今後、
- 回答** 冬期間はおやき体験・三九郎等を開催し集客に繋げると共に、ちひろ美術館と連携し、年間主要イベントを調整する。
- 議会 特定健診の受診率が向上。今後も健康長寿村に向け努力してほしい。**
回答 保健指導を進め、今後も受診率向上に努める。
- 議会 農業支援への取り組みを評価する。**
回答 平成28年度より多面的機能支払事業を広域組織化したことで、水路改修等の長寿命化事業が計画的に行っている。今後、
- 回答** 松林健全化整備業務を、引き続き進めて。
- 回答** 森林監視員と連携し、早期に松くい虫の伐倒燻蒸処理に努めており、今後も継続して取り組む。
- 議会 認定こども園の教育や保育の努力に今後期待できる。**
回答 保育内容の充実を図っている。引き続き、教育及び保育の質の向上に努める。

12月定例議会 議案審議結果 すべて全会一致で承認・議決（千の単位切り捨て）

件 名	内 容
平成29年度松川村一般会計補正予算（第3号）専決報告	594万円追加し、41億3902万円とする。衆議院議員総選挙の費用。
平成29年度松川村一般会計補正予算（第4号）専決報告	754万円を追加し、41億4657万円とする。子ども未来センター変更工事など。
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	農業委員の報酬。農地利用の最適化に係わる活動の報酬は、予算の範囲で村長が定める額とする。
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	人事院の給与改定に関する勧告に伴い、期末手当の一部を改める。
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	人事院の給与改定に関する勧告に伴い、期末手当の一部を改める。
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	人事院の給与改定に関する勧告に伴い、期末手当の一部を改める。
平成29年度松川村一般会計補正予算（第5号）	4006万円追加し、41億8663万円とする。プレミアム商品券発行、高齢者入浴券給付を65歳以上など。
平成29年度松川村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	62万円減額し、1億157万円とする。
平成29年度松川村公園墓地造成事業特別会計補正予算(第2号)	30万円追加し、440万円とする。
平成29年度松川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	9万円追加し、5億6945万円とする。人事院の給与改定に関する勧告に伴い、報酬の一部を改める。
平成29年度松川村水道事業会計補正予算（第2号）	3万円追加し、1億7693万円とする。人事院の給与改定に関する勧告に伴い、報酬の一部を改める。
平成28年度都市再生整備計画事業子ども未来センター建設工事の変更請負契約の締結について	子ども未来センター建設工事の変更に伴い、変更請負契約の締結の議決を求める。3億6720万円を3億7139万円とする。

陳情の審査結果

件 名	結 果
「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設するための意見書提出を要請する陳情	一部採択



▲松本年金事務所水野所長他による説明の様子

年金制度学習会

平成29年12月8日

社会福祉文教常任委員会主催で、年金制度の意見書提出に伴い年金機構松本年金事務所の所長他2名の職員に講師をお願いし、「年金制度」のあらましと今後について全議員で学習会を開催しました。
制度の改変もあるなか、少子高齢化社会においては制度の維持が重要な課題です。

一般質問 8人の議員が登壇

平成29年12月18日・19日



今年を振り返って

勝家 尊

問 職員の健康管理は。

答 「自分の身は自分で守れ」をモットーに検診を受けている。メンタルケアも実施している。

問 1万人復活特命係が新設された。実績と手ごたえ、そして今後は。

答 移住パンフレットの更新、ウェルカムドリリンクの配布、魅力体験ツアー都市圏での移住相談

の交付状況は。

答 13区画の内9区画が契約済み、4区画に申込みあり。今後理事会にはかり実施する。

問 移住定住促進補助金の交付状況は。

答 中古住宅購入に1件、新築住宅に1件、更に数件を見込む。結婚新生活支援補助金は2件交付。

問 子育て支援は、小中学生に一律1万円の給食費の補助、保育料の減額無料化等をしているが中学校の入学時に入学準備金の補助等、更なる子育て支援を望むが。

答 今年度から小中高校に入学する全ての子どもに1万円を支援する。

問 小中学生の学力テストが好成績の要因は。

答 小中共に全国平均を上まわった、小学生はトツレベルである。児童間で構築された人間関係と教師の熱意によるもの。

問 大雪が心配だが除雪対策は。

答 県と提携し万全を期している。



国保

上田 治美

問 国と県に国保財政への負担増額と、繰り入れを働きかけてほしい。

答 国や県に働きかけていく。一般会計からの繰り入れは考えていない。

問 県の試算では一人当たりの納付金、保険料共に現行より低くなっている。保険料引き下げの検討はできないか。

答 仮定の数字だが、来年は引き上げしない。

問 資産割と均等割りの見直しはできないか。

答 資産割は国保運営協議会で検討する。均等割りは国の制度見直しが必要となる。

問 県が示す98割を納めるにはいくら不足か。

答 平成28年度の村収納率は96割で450万円不足。基金で対応する。

問 収納率向上では生活実態に即した無理のない収納を心掛けてほしい。

答 滞納者とよく話し合

って無理のない収納に努める。

問 医療費はすべて保険料に反映する。村の高額医療費は増え、医療費は県内でも高い方にある。

答 特定検診の目標は達成した。休日検診を検討し65割を目指す。ガン検診や料理教室など総合的に充実した取組みを行う。

問 県は将来的に保険料水準の統一を目指し検討するとしている。医療費の適正化、収納率向上が評価され、医療離れや保険料引き上げにつながる可能性があり、保険料統一はまだ早いと思うが。

答 市町村の国保加入者が一番困ることになる。国保税が入らなければ一般会計で賄うことになり、村の事業にも影響が出るので県に話をしたい。



林業振興

平林 幹張

問 林道の不法投棄は。

答 不法投棄は、850結と減少傾向。

問 林道に面した北和田線砂防堰堤工事は。

答 測量は実施したが、本体工事は、今後。

問 緩衝帯・電気柵整備事業の今後は。

答 本年度西原地区約1km延長。維持管理は地元

の中山間組織が行う。

問 松くい虫対策状況。

答 本年度伐倒燻蒸処理610本3割の減少。

問 農産物輸出事業の市場調査中間報告で、台湾・シンガポールに絞り込みの経緯は。

答 JTBを通じ、相手の消費動向・検疫・安全基準・規制等を考慮。

問 品目別の特異性は。

答 米・日本酒は、可能性は高い。リングは検疫など関係団体と検討中。

問 輸出推進協議会の活動と今後の取組みは。

答 来々、海外商談会を実施し、3月最終報告を受けて活動強化を目指す。

問 新たな特産品、地域ブランド品の創設は。

答 村は、米にこだわり、酒やその他、産物の創造を図りたい。

問 新規就農者育成事業の状況は。

答 17組合で協定書を整備し申請を行う。

答 15名中8名が対象、最終的に3名が定住希望。

問 30年以降の農業政策。

答 生産調整直接支払の廃止で、米・畑作物収入減少に策をとる。水田活用・畑作物直接支払は継続。

問 収入保険制度の取組み。

答 青色申告が要件で、農業共済組合と連携し推進。

問 多面的機能支払交付金の白地対策は。

答 17組合で協定書を整備し申請を行う。

答 15名中8名が対象、最終的に3名が定住希望。

問 30年以降の農業政策。

答 生産調整直接支払の廃止で、米・畑作物収入減少に策をとる。水田活用・畑作物直接支払は継続。

問 収入保険制度の取組み。

答 青色申告が要件で、農業共済組合と連携し推進。

問 多面的機能支払交付金の白地対策は。

答 17組合で協定書を整備し申請を行う。

答 15名中8名が対象、最終的に3名が定住希望。

問 30年以降の農業政策。

一般質問



地域包括ケアの現状と今後

梨子田長生

問 国の健診受診率の目標を達成した要因は。

答 未受診者への訪問。

問 メタボ予防活動内容。

答 個別の訪問による生活習慣改善サポート。

問 生活支援サービスは。

答 調理・掃除・洗濯・買い物など支援。

問 生活支援コーディネーターや協議体の役割と選出方法は。

答 地域の支え合い体制の構築。委員は、19名を村長が委嘱。委員からコーディネーターを推薦。

問 認知症初期支援は。

答 30年より大町市に共同で1チーム設置。

問 認知症地域推進員の任務と選出方法は。

答 相談業務や連携支援等で認知症施策担当保健師が支援に携わる。

問 介護担い手確保は。

答 本年4月より北アルプス広域連合で介護人材養成講座を開始し研修終了者は128人。

問 子育ての支援・応援

問 マイナポータル(オンラインサービス)の活用は。

答 利用すれば便利。

問 いじめ早期発見へSNSの活用は。

答 学校では控えたい。

問 子育てパパの応援、環境改善の取組みは。

答 周知している。

問 ネウボラ(子育て支援)の整備状況は。

答 地区担当保健師や関係機関と連携し、切れ目のない支援をしている。

問 移住・交流イベント

問 交流イベントは。

答 大人の運動会と秋の林檎収穫ピザ作り婚活を開催。49人と22人が参加。

問 移住相談は。

答 地元や東京で1日平均約10件程度。

問 村生活圏視察と体験ツアーの状況は。

答 視察2組3名。体験は2回で計8組10名。



来年度以降の水田農業

平林 寛也

問 国の減反政策が廃止され、米作りが各生産者や地域の主体性に委ねられ生産者の不安は大きい。村の対応はどうか。

答 担い手への耕作面積の集積率は51割。11の集落営農組織がある。また、大規模農家は後継者があり、村全体では後継者不足ではない。

問 県農業再生協議会の目安値をどう受け止め、各生産者に伝えるか。

答 今年までと同様、村農業再生協議会で決定し、各生産者に示す。目安値への取組みは、各生産者に判断を委ねる。

問 直接支払交付金廃止による減収を補う対策は。

答 水田活用の交付金制度をより活用し、加工米への取組みなど含めて対応する。また、国内販路や輸出政策の調整と研究を継続し、収入確保に取組む。

問 民泊事業の現状と課題

問 農家民泊は順調に成果を上げ、毎年多数の宿泊客があるが実績は。

答 今年度は591名を迎え、受入れ農家は53戸である。大町市・安曇野市と連携している。

問 受入れ農家の減少や、宿泊希望の増加などの課題への対応は。

答 民泊協議会と協議を



村長の施政

茅野 靖昌

問 鼠穴学校跡地を、松川村の史跡に指定しては。

答 今は考えていない。

問 なぜ史跡指定ができないのか。

答 松川村文化財保護規定により対象外である。

問 文化財保護規定の内容は。

答 教育学芸の史跡とは藩学・郷学・私学のことを言うとの規定。

問 県農業再生協議会の目安値をどう受け止め、各生産者に伝えるか。

答 今年までと同様、村農業再生協議会で決定し、各生産者に示す。目安値への取組みは、各生産者に判断を委ねる。

問 直接支払交付金廃止による減収を補う対策は。

答 水田活用の交付金制度をより活用し、加工米への取組みなど含めて対応する。また、国内販路や輸出政策の調整と研究を継続し、収入確保に取組む。

問 民泊事業の現状と課題

問 農家民泊は順調に成果を上げ、毎年多数の宿泊客があるが実績は。

答 今年度は591名を迎え、受入れ農家は53戸である。大町市・安曇野市と連携している。

問 受入れ農家の減少や、宿泊希望の増加などの課題への対応は。

整備を行うが、有害鳥獣が学習し柵から侵入している。

問 村で電気柵管理を。

答 村は侵入防止に努力するが管理は中山間地においてお願いする。

問 森林山村多面的機能発揮対策事業の県の説明は。

答 28年度までは1割当たり16万円で全額国庫補助、29年度からは国が75割で25割を市町村で負担する。村の負担のある協議会を優先採択する。

問 29年度は取組んで頂

いたが30年度以降は。

答 30年度も取組む。

問 国内への農産物販路拡大検討委員会を作ってみては。

答 食料米は非常に厳しい。来年度から農政が変わるので、しっかりと検討してみることがある。

問 販路や宣伝に地域おこし協力隊の参加は。

答 係と相談して考える。

問 人口増に国内友好姉妹都市を考えては。

答 今の所考えていない。

一般質問



村政

おた 太田 繁義

問 グリーンワーク松川の外装修理は。

答 3年計画で対応。

問 パターゴルフ場入口の受付小屋の改善を。

答 後利用決定後に検討する。

問 マレットゴルフ場と、パターゴルフ場のトイレの改善を。

答 利用者と相談する。

問 第3分団詰所の災害

備蓄倉庫の格納品は。

答 主に毛布・簡易トイレ・布団・だるまストーブ・室内用テント等配備。

庁舎内には食糧関係・おむつ・投光機・発電機・救助用資材等配備。備蓄品の賞味期限及び作動等は年数回確認している。

地域福祉の推進

問 高齢者対策に向け今後の課題と具体的施策は。

答 介護保険法により、高齢者支援の枠組みが大きく改善。その事業を有効活用して高齢者支援の推進を図る。

問 住民相互理解を深めるのバリアフリーを。

答 障がい者や特定の病気の理解度には差がある。偏見をなくし理解の積み重ねが必要。

問 包括支援センターの主な支援活動は。

答 高齢者の総合相談窓口として介護に関するのと。医療や認知症などの

生活や健康上の心配や不安など相談にも対応。

問 2025年に向けて村での推進方法は。

答 高齢者支援に関わる個人や団体で構成する協議体を発足し、必要な支援や地域支え合い体制づくり等を協議。この協議体で協議し高齢者福祉に活かしていく。

問 平成30年からの必須包括的支援事業は。

答 介護保険の地域支援事業の中で位置付ける。

松川村議会の次期選挙



まつかわ 佐藤 節子

問 新聞で次期選挙が報道された。今後どう進めるか。

答 投票率18年75割、22年無投票、26年69割。年々低下傾向。選挙権を18歳まで引き下げて始めての村議選。選管では広報で参加を啓発し準備する。

問 自立の村として15年経過。これから少子高齢化で財源不足が予想され

るが、30年度予算編成はどう進めるか。

答 先ずは人口1万人復活を目指す。政策は職員と検討し3月に上程する。

29年中の各課の成果と今後の決意

問 村民や他所からも役場の評判が良い。各課の成果など聞きたい。

答 『総務課長』目標1万人に向け総力で取組む。

鹿港鎮と今年は7回交流。双方の発展にしたい。『会計課長』資金運用、支払い等滞りなく行なっている。『住民課長』窓口業務を親切丁寧に、ゴミ減量にも努力する。『福祉課長』健康長寿を目指す。ささえ合い協議会で計画を策定。障がい者計画策定。『経済課長』ちひろ公園オーブンや寄って停まつかわ20年周年を祝った。米政策転換に対し村農業を守る。『建設水道課長』安心・安全に道路上下水道、橋梁など取組む。『教育次長』子ども未来センター完成。子どもと保護者の安心を大切に。『社会教育課長』芸術文化と生涯学習の振興。松川村を象徴する29年の漢字

長野県地方自治政策課題研修会

平成29年11月9日

県議会議員主催の第13回長野県地方自治政策課題研修会が県庁で開催され、村からは、副村長と全議員が参加しました。

主な内容は、平成30年度を初年度とする「次期長野県総合5か年計画に係る県議会の取組について」と、平成30年度開校予定の県立大学学長他の学校説明「地域とともに歩み始める長野県立大学」の講演を聞きました。

今後、県の施策がどのように進展するか期待されます。



▲県庁講堂

変わる国民健康保険制度

平成29年12月15日

平成30年4月から国民健康保険が変わるため、議員研修会を開催しました。



▲国保の説明をする住民課長と係長

これまでの市町村に加え、県も国民健康保険制度を担うことになりました。

県と村の役割分担

村が県で決定した納付金を県に納付し、県は給付に必要な費用を全額村に支払います。

○県は、国民健康保険の財政運営の責任主体として、財政を管理。

○村は、従来どおり、保険税の賦課、徴収、被保険者証の発行、保険給付の決定、支給等を担う。

県町村議会議長会特別表彰

昨年10月25日、議会議員に18年以上在職し、地方自治の振興に功労があったとして、佐藤節子議員が長野県町村議会議長会から特別表彰されました。

平成10年の村議会議員一般選挙で初当選し、現在5期目です。



池田松川施設 組合議会定例会

平成29年11月13日

(全ての案件を議決)

- ・審議事項等
- ・平成28年度一般会計補正予算の専決処分報告
- ・職員定数条例の一部を改正する条例について
- ・平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定
- ・教育長の任命について
- ・教育委員会委員の任命

について。

審議結果等

- ・各議案を原案のとおり承認又は議決。

北アルプス広域 連合議会定例会

平成29年11月15日

(全ての案件を議決)

- ・西澤勇氏の教育長任命に同意。中山俊夫氏(池田町)、山崎圭子氏の教育委員任命に同意。

審議結果等

- ・議長に小松洋一郎議員(安曇野市)を選任。
- ・決算を認定。

本会議の様子をインターネット配信しています。

松川村議会で検索してください。

審議事項等

- ・広域葬祭場の指定管理について。

- ・平成29年度一般会計補正予算。
- ・平成29年度介護保健事業特別会計補正予算
- ・平成29年度介護老人保健施設事業特別会計補正予算。
- ・平成29年度老人福祉施設等事業特別会計補正予算。
- ・審議結果等
- ・各議案を原案のとおり議決。

穂高広域施設 組合議会定例会

平成29年11月27日

(全ての案件を議決)

- ・審議事項等
- ・議長の選挙について。
- ・平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定

審議結果等

- ・議長に小松洋一郎議員(安曇野市)を選任。
- ・決算を認定。

大北市町村議会議員研修会

平成29年10月4日

白馬村の当番で、大北5市町村議会議員研修会が開催されました。総務省から派遣されている、白馬村藤本副村長による「持続可能なまちづくりとしての地方創生の推進」の講演が行われ、大北地域の人口減対策などを研修しました。



▶白馬村役場での研修の様子

編集後記

平素「議会だより」をご愛読いただき感謝申し上げます。

喬木村で夜間・休日議会が開かれている。休日議会や子ども議会も各地で開会されているが、村議会も住民懇談会など努力を重ねてきた。

3月13日告示、18日投票で村議会議員選挙がたたかわれる。各地で無投票となるケースが増え、松川村でも無投票となった経緯がある。

議会改革が進み始めたこの時期、更なる議会の活性に向け村民各位の議会への関心をより高めて頂くよう期待したい。

上田治美

議会報編集委員会

委員長 佐藤 節子
副委員長 上田 治美
委員 茅野 靖昌
梨子田長生

草間 正視